

- ▶ 琴平町の森林は、金比羅の大神が鎮座される琴平山（旧名 象頭山）標高521mをはじめ、南西部と北西部に集中している。その大半が金刀比羅宮所有の森林であり、全国有数の観光地としての景観的役割を満たす他、宮の建物が老朽化するに伴い、必要に応じてご神木としての使用もしている。また、森林の一部が瀬戸内海国立公園・名勝天然記念物に指定されている。
- ▶ このように、町が主体となって整備すべき森林が少ないため、本町としては、森林環境譲与税を活用し、木材利用を促進する方針。
- ▶ 令和元年度においては、中学校校舎、体育館における内装の木質化を図った。

□ 事業内容

1 中学校校舎における内装の木質化

- 本町にある中学校（1校）の校舎、体育館の内装木質化を実施（教室、廊下、アリーナの床、壁等）。

【事業費】 2,237,616千円（うち譲与税458千円）

【実績】 61.79㎡



□ 工夫・留意した点

- 木材利用の意義をより身近に理解してもらうため、材料の調達に当たっては、極力香川県内で生産された木材が使われるように留意した。
- 先生や生徒、その保護者からは、木材の利用について、好意的な意見が多く得られた。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	458千円
②私有林人工林面積（※1）	11ha
③林野率（※2）	24.0%
④人口（※3）	9,186人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より